

奉 祝 石 鎚 本 教 八 十 周 年



発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教

電話 (0897) 55-4044

11・12月号



道

石鎚本教の秋季例大祭が行われました。同時に本年は、石鎚山開山千三百四十年、石鎚神社列格百六十年、石鎚本教創立八十周年の、奉祝大祭でもありました。

大祭前日に記念式典を行い、崇敬組合、教会、遙拝所、講社に、神社・本教に居なくてはならない方々へ、表彰状、功労章、感謝状の贈呈をさせて頂きました。

式典直前、役員に、「参集の方々から高揚感が感じられる。」と言われ、確かに不思議な「気」を感じました。

一年前からスタートし進む諸準備に、数々のお声掛けやカウンタダウンの呼び掛けも戴き、励まされてきました。多くの方々の力で一年間を練り上げてきたからこそその「気」であろう、それが八十年続いているのであろう、とつくづく感じた秋の御大祭でありました。

大神様、信徒の皆さま、誠に有難うございます。

武智

「霊峰石鎚山開山千三百四十年」
 「石鎚神社 列格 百六十年」
 「石鎚本教 創立 八十周年」
奉祝大祭齋行
 令和七年十月五日

去る十月五日(日)秋とは思えない暖かい気候の中、石鎚神社口之宮本社御本殿にて、周年奉祝秋季例大祭が盛大に斎行されました。

当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、神社界政界各界より御来賓のご参拝を賜り、午前十時より祭典を斎行。

祭典は、「氏子立螺之会」の皆様、御勇ましい立螺に始まり、神御衣、本教幣が奉られ、武智宮司が祝詞を奏上し、日々のご神恩、五穀豊穰に感謝申し上げ、湊照彦筆頭常務総代・本教理事により総代祈願詞が奏上されました。



続いて愛媛雅楽会による「陵王」が奉納されました。「陵王」が生の雅楽演奏で奉納されたのは愛媛県で初めてのことです。



そして神社役員、御来賓を始め崇敬組合長・教会長・遙拝所長・講社長に玉串奉奠をして頂き、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳粛に祭典を終了致しました。

続いて神御衣が、

- ・大分県 霊威教会
 - ・愛媛県 龍雲山肱川教会
 - ・香川県 導不動院遙拝所
 - ・福岡県 敬祥教会
 - ・愛知県 岩倉教会
 - ・教会長 勝本房利様
 - ・教会長 田中聡哉様
- へ発令されました。



来賓祝辞として
 ・愛媛県神社庁長
 和霊神社 宮司 三輪田泰生様
 ・前衆議院議員 井原巧様
 ・西条市長 高橋敏明様
 よりご挨拶を頂戴し、



その後、神輿にご神像をお遷しして神輿渡御が行われ、子ども樽神輿や敬神婦人会の花神輿、お稚児行列も賑やかに社務所前へ到着し、お餅撒きが行われました。



神輿が御旅所に着御すると、お旅所祭が執り行われ、巫女による豊栄の舞や西田獅子舞保存会の獅子舞、石鎚敬神婦人会の「手踊り」が奉納されました。御旅所祭後、御神輿は、本殿へ還御されてご神像拝戴がなされ、二回目のお餅撒きが本殿向拝より執り行われ、福木もその時に併せて撒かれました。

なお、神御衣は

・新居浜市 大西彌太郎 元老
・大阪府茨木市 矢野棟子様



また、お餅は

・徳島県東予崇敬組合徳島支部 支部長 武田喜善 名誉部長
・愛媛県 原井川平 銀笏
・福岡県 梶原倫子 元老
・徳島県 金平敏孝 特選部長
子供餅投げ用お菓子を

・愛媛県

石鎚開発 工藤忠 元老

タオルを

・愛媛県 曾我タオル(株)

の皆様よりご奉納頂きました。誠にありがとうございます。



福木投げの当選者

特賞一等

Panasonic三枚刃シェーバー
松山市 乙井 正男 様

特賞二等 空気清浄機

西条市 伊藤 令子 様

特賞三等 炊飯器

三豊市 曾根 修 様

特賞四等 布団・衣類乾燥機

西条市 吉田 明美 様

特賞五等

コードレススティッククリーナー

松山市 岡村 クミ 様

特賞六等 食器乾燥機

西条市 大塚 千恵 様

特賞七等 低周波治療器

西条市 曾我部 純 様

特賞八等 電気ケトル

西条市 西坂 道輝 様

特賞九等 FM/AMラジオ

美馬市 藤本 敏男 様

五日当日境内では、石鎚敬神婦人会のお茶席のお接待が、本殿前休憩所にて行われ、ご参拝の皆様も憩いの一時を過ごされました。

今大祭で各方面にてご奉仕、ご奉納を賜りました豊友会、敬神婦人会、信徒の皆様方には、大神様の為と思い誠心からのご奉仕をいただき、無事盛大に周年奉祝大祭を斎行出来ましたことをこの場をお借り致しまして篤くお礼申し上げます。

げ、信徒皆様の今後益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、ご報告と致します。

記 権瀬宜 曾我部洋輔
(ご芳名は全て順不同)



「霊峰石鎚山開山千三百四十年」
「石鎚神社 列格 百六十年」
「石鎚本教 創立 八十周年」
奉祝式典斎行
令和七年十月四日

・・・開催要項・・・

【奉祝式典】

午前十時 御本殿にて
午前十一時 記念奉納
「日本舞踊」・「夢華神楽」

【だんじり奉納】

正午 社務所前広場にて
地元・西条祭り六地区のだんじり屋台が、ご来社の皆様をお出迎えして社務所前にて「かきくらべ」を披露。

《だんじりお披露目地区》

西田・西泉・榎木

坂元・北山・奥之内

【祝賀会】

午後一時 神社会館3階

・・・第一部奉祝式典次第・・・

①開式太鼓

②開式の辞

沖野和義常務総代・本教理事



- ③ 神殿拝礼
- ④ 国歌斉唱
- ⑤ 物故者への黙祷
・・・屏風鋪設・・・
- ⑥ 武智正人宮司・管長挨拶
- ⑦ 平岡明奉祝実行委員長挨拶
- ⑧ 功労者表彰
- ⑨ 御来賓紹介及び御来賓祝辞
衆議院議員 塩崎 彰久 様
参議院議員 山本 順三 様
- ⑩ 閉式の辞
田窪一善常務総代・本教理事
- ⑪ 閉式太鼓

・・・第二部記念奉納・・・

『日本舞踊』

藤間勘右衛門派

藤間流師範・藤間踊花氏

演目「君が代松竹梅」

(お世話人・大阪教会)



『神楽奉納』

夢華神楽社中

代表 村上彰鴻

演目「石鎚光鈴の舞」

「祥福の舞」

・・・第三部祝賀会・・・

①挨拶

佐伯良子 教会聯合会会長

②祝辞

井原巧 前衆議院議員

③乾杯

高橋亨 常務総代・本教理事

④懇談

⑤閉式の辞

十亀貴文

常務総代・本教理事

去る十月四日。朝方は少し雨が降る中にも徐々に晴れ間も覗きつつ、凜とした、また高揚感の溢れる雰囲気の中で、表記の奉祝式典が百五十名を超える皆様にご来社頂き、盛大に斎行されました。

式典ではこれまでのご功績を称え、教会等級昇格を始め、多くの皆様方に功労者表彰が行われ、記念奉納・だんじり奉納・祝賀会と多くの皆様と共に喜びを分かち合いました。今日から九十周年・百周年へと向けた新たな一歩の始まりです。ご関係の皆様にご感謝申し上げます。

記 権宮司 十亀 博行

十月六日 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭斎行

境内にある祖霊殿。石鎚山

開山の祖・役小角をはじめ歴代宮司、霊峰石鎚の為にお力添えを戴きました先達・教師・特別崇敬者にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を斎行しています。

※御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしていただきます)に命日祭の御案内を差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

秋季例大祭は秋風吹く中、関係御遺族・神社役員のご参列を戴き斎行されました。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は今年、新たに合祀された御遺族様と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様も御参列戴き、御霊慰めの祭典を共に御奉仕したいと思います。

お姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

先達・教師の皆様が、築かれました篤志を、また優しく御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

この度合祀されました新祭神をご紹介します。

石鎚神社 先達会付係

TEL 0897・55・4044

令和七年

十月六日

祖霊殿合祀祭神名

功労章銀笏 元老大顧問
少教正

眞木 高年 大人命

有功神鏡笏 元老大顧問
権大教正

松岡 功 大人命

有功神鏡笏 元老大顧問

西中 圓勝 大人命

元老大顧問
少教正

軸丸 貞子 刀自命

元老大顧問

酒井作一郎 大人命

元老

浅野 九三 大人命

特別大監長
権中講義

船田 栄一 大人命

副大監長

箱崎 繁夫 大人命

副大監長

箱崎 清市 大人命

取締

大黒 正行 大人命

取締

箱崎 幾雄 大人命

取締

中田ヨネ子 刀自命

先達

三宅 宏和 大人命

先達

空野 時枝 刀自命

特別崇敬者

箱崎 正繁 大人命

(順不同)



「霊峰石鎚山開山千三百四十年」

「石鎚神社列格百六十年」

「石鎚本教創立八十周年」

教会等級昇格・昇級辞令・表彰状拝受者御芳名

※恐縮ながら紙面の都合上、芳名掲載は勲続表彰状拝受者の方までとさせていただきます。
(順不同・敬称略)

教会等級昇格

一等 福岡県 福岡神和教会 佐伯 良子



準二等 愛媛県 伊予教会 肥田真由美



準二等 高知県 佐川教会 片岡 抄織



準二等 大分県 尺間嶽教会 田島 大悟



二等 高知県 足摺岬教会 中澤 幸孝



準三等 山口県 富海教会 松岡 英二



特別功労者表彰

愛媛県 名誉宮司・名誉管長 十亀 興美

徳島県 奉祝実行委員長 平岡 明

大分県 名誉顧問 中西 幸男

福岡県 霊威教会 教会聯合会会長 福岡神和教会 佐伯 良子

広島県 蔵王教会 深川 健二

愛媛県 夏山開大祭救護班隊長 曾我 政夫

愛媛県 氏子立螺之会 岩本 廣志

高知県 佐川教会 片岡 抄織

神奈川県 常任講師 西海 賢二

西海文庫 文庫長 西海 賢二

石鎚本教功労章

高知県 和食教会 安岡桂一郎



最高功労章金笏

大阪府 大阪教会 湊 喜美子



広島県 中津原遙拝所 高原 政明



香川県 讃岐神大遙拝所

大高 久呼



功労章銀笏

岡山県 倉敷中央遙拝所

平松 史朗



愛媛県 西宇和遙拝所

山下 芳章



愛媛県 南予崇敬組合

原井川 平



有功神鏡笏

愛媛県 吉田教会

越智 汀祐

愛媛県 睦美教会

田窪 隆子

役員・教会長・遙拝所長

勤続者表彰

本教理事 二十年以上勤続

常務総代 十年以上勤続

愛媛県 湊 照彦

常務総代・本教理事

十年以上勤続

徳島県 平岡 明

常務総代・氏子総代

十年以上勤続

愛媛県 十亀 貴文

本教理事十年以上勤続

愛媛県 沖野 和義

愛媛県 田窪 一善

本教評議員三十年以上勤続

広島県 川西 久美

大分県 中西 幸男

岡山県 森 文成

山口県 加藤 法泰

本教評議員二十年以上勤続

愛媛県 田窪 一善

山口県 西田 幸子

福岡県 梶原 倫子

本教評議員十年以上勤続

愛媛県 坪内 統

愛媛県 沖野 和義

高知県 岡村 信一

香川県 横田 一徳

高知県 安岡桂一郎

山口県 山中 将史

広島県 三吉 真司

大分県 江藤 秀人

福岡県 佐伯 良子

福岡県 越智 節子

大阪府 湊 喜美子

広島県 木村 稔

愛媛県 井上 忠史

教会長・遙拝所長

四十年以上勤続

上下教会 有田 守男

廿日市遙拝所 片山 辰馬

大阪生栄遙拝所 伊東 祐宏

愛知遙拝所 澁谷恵美子

教会長・遙拝所長

三十年以上勤続

三原市教会 福地宗明彦

蔵王教会 深川 健二

萩教会 安藤 郁美

敬祥教会 勝本 房利

岩倉教会 田中 聡哉

神明遙拝所 大西サ力工

福山珍怡遙拝所 若井 朗

神畑遙拝所 松本 光子

教会長・遙拝所長

二十年以上勤続

吉田教会 越智 汀祐

山南嘉和教会 岡本 嘉孝

鐘ヶ淵教会 山田 春治

香春教会 川津 守秀

大分市教会 長澤 講三

中予横山遙拝所 沼田 保男

須崎市遙拝所 笹岡 義和

鴨方遙拝所 花野 一雄

倉敷中央遙拝所 平松 史朗

大打山遙拝所 石崎 昌司

徳浦遙拝所 木村 好一

令和七年八月末日現在

順不同・敬称略

「霊峰石鎚山開山千三百四十年」
 「石鎚神社 列格 百六十年」
 「石鎚本教 創立 八十周年」
奉祝式典・奉祝大祭
お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただ
 きました皆様

◎式拾万円以上
 導不動院遙拝所

◎七万円以上

佐川教会

片岡 抄織

◎五万円以上

穂波教会

富海教会

西条周桑崇敬組合

越智 節子
 松岡 英二

《本社》
 ◎壹百万円以上

武智 晴子

◎壹千万円以上

浅海 重子

◎壹百万円以上

大阪教会 湊 喜美子

福岡神和教会

佐伯 良子

愛知遙拝所

澁谷恵美子

石鎚敬神婦人会

◎壹拾五万円以上

大分石鎚教会

香春教会

吉見教会

江藤 秀人
 川津 守秀
 加藤 法泰

◎壹拾万円以上

睦美教会

吉田教会

大阪周布教会

下関教会

穂波教会

大分石鎚教会

神明遙拝所

大打山遙拝所

東雲講社

西山講

◎五万円以上

(順不同・敬称略)

浦松 傳

真心のご浄財・ご奉納を賜
 りました皆様、ご奉賛心より
 厚くお礼を申し上げます。

文責 瀬宜 大岡

(株)浦松コンサルティン
 グ
 ファーム 浦松 大八
 株式会社浦松建設

平野英太郎
 十亀 興美
 越智 汀祐
 原井川 平
 河村靖彦・東子

本社での壹万円以上のお初
 穂奉納者につきましては、本
 社手水舎前に掲載させていた
 だいております。

河村 英樹
 西原 貞子
 上廣敏彦・昭子
 鈴木喜代子

令和七年八月一日

令和七年九月末日

◎式拾万円以上

(株)大屋 伊藤慎太郎

◎壹拾万円以上

和食教会

讃岐神大遙拝所

安岡桂一郎

大高 久呼
 浦松 大八

敬神婦人会副会長

石崎美智子

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

愛知遙拝所 澁谷恵美子

石鎚登山口プウエイ(株)

伊藤 和豊

浅海 重子

河村靖彦・東子

松浦 節子

浦松 傳

御 慶

武智 正人 宮司

愛媛県神社庁

副庁長に御就任

七月一日付



武智正人宮司が、愛媛県神社庁の副庁長に就任されました。

愛媛県神社庁役員会及び同協議員会にて選任を受け、御山開き大祭初日、七月一日付のご就任です。

愛媛県の神社界の神職及び神職支部を統べる神社庁の重職に於いて、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

記 権宮司 十亀博行

石鎚神社・神社本教

名誉顧問 就任

功労章 銀之笏拝受

平岡 明

元老大顧問・少教正

九月一日付



- ・平成元年 先達拝命
- ・平成二十三年常務総代就任
- ・平成三十年 有功神鏡笏拝受
- ・令和 六年 功労章銀笏拝受
- ・元、宮司推薦総代。
- ・元、東予崇敬組合、徳島支部長。御神像奉持のご奉仕も長きにわたる。

筆頭常務総代・筆頭本教理事、平岡明元老大顧問が、八月末、神社・本教七十五才の役員定年を迎えられ勇退された。去る八月二十日の総代・評議員会にて、神社・本教の名誉顧問に推挙され、満場一致にて承認された。

長らくのご奉仕に心から感謝申し上げます。今後は名誉顧問としてご指導をお願い申し上げます。

文責、武智。

石鎚神社 常務総代 就任

岡本 嘉孝

本教理事・元老大顧問・中教正

九月一日付



- ・昭和三十二年生
- ・石鎚本教 理事
- ・山南嘉和教会 教会長
- ・元、本教・奉賛会 監査役

岡本常務総代は三代続く教会の長を平成十一年に継承以来、祭儀を連綿と厳修し、近隣の遙拝所へも奉仕、正月、御山開き大祭、春秋例大祭には信徒を引率され参拝を続けられる。本教・奉賛会の監査役も長く奉仕。去る八月二十日の神社総代会にて推挙され、満場一致にて承認、今秋就任された。

神社・本教の役員として、ご活躍をお祈りする次第である。

文責、武智。

投げ餅 ご奉納

為、石鎚本教 秋季例大祭

東予崇敬組合 徳島支部

支部長 武田喜善 名誉部長

去る十月五日、石鎚本教秋季例大祭に、東予崇敬組合の徳島支部の皆さまが、投げ餅を奉納頂きました。

石鎚大神様への献上の思いを込め、丹念につづつ作り上げてのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神様もお喜び、大祭当日は実に盛大な餅投げとなりました。深く御礼を申し上げます。ご奉仕の皆さまのご紹介と致します。

記 権宮司 十亀博行

ご奉仕・ご奉納者

武田 喜善 ・ 武田みどり
藤本 敏男 ・ 藤本 園枝
星川 弘明 ・ 平岡 武子
森岡 政和 ・ 森岡百合香
河合 純子 ・ 渡辺 功子
梶浦 和恵 ・ 佐藤 幸子
佐藤かつ子 ・ 藤本 幹世
丸岡 大輔 ・ 谷 英子
渡辺シンヤ

(順不同・敬称略)

石鎚本教 理事 就任

勝本 房利

元老・少教正

十月四日付



- ・昭和三十六年生
- ・福岡県 敬祥教会 教会長
- ・石鎚本教評議員
- ・前、豊友会 会長

勝本本教理事は、本社権禰宜を退職後、平成五年より三代目教会長として昭和四十七年創立の教会を継承、爾来三十一年以上に亘り連綿と祭儀を厳修。霊峰石鎚の古道である三十六王子社巡拝には思いも深く、巡拝回数には石鎚信徒の中でも随一と思われる。

去る四月三日の本教評議員会にて推挙され、満場一致にて承認、今秋就任された。

今後益々のご活躍をお祈りする次第である。

文責、武智。

石鎚本教 理事 就任

有功神鏡翁

田中 聡哉

元老大顧問・大教正

十月四日付



- ・昭和三十八年生
- ・愛知県 岩倉教会 教会長
- ・前、豊友会 理事

田中本教理事は、本社権禰宜を退職後、昭和四十年創立の岩倉教会に奉職、平成六年より二代目教会長に就任、爾来三十一年以上に亘り連綿と祭儀を厳修。御山開き大祭にては頂上社の奉仕も長きに亘る。

去る八月二十日の本教評議員会にて推挙され、満場一致にて承認、今秋就任された。

今後益々のご活躍をお祈りする次第である。

文責、武智。

山口崇敬組合 新組合長就任

組合長

田邊和彦

元老大顧問・権中教正



去る九月十六日に山口崇敬組合の総会が行われ、新たに田邊和彦元老大顧問が組合長に就任されました。併せて副組合長、会計長も新たに就任されましたので報告致します。

副組合長

長野辰男

元老大顧問・訓導

会計長

原田浩一

元老大顧問・権大講義

新たに役職に就かれました皆様の今後の活躍と、今後益々のご健勝とを御祈念致します。



まして報告とさせていただきます。

記 権禰宜 曾我部洋輔

写真 右から

副組合長 長野辰男

組合長 田邊和彦

会計長 原田浩一

順不同・敬称略

中予崇敬組合・中予教会 役員改選

組合長・教区長

宮内 浩一

大監長・権大講義

教会長・会計

宮内 由美

特選部長・大講義



副組合長

井上 和夫 元老大顧問

会計

渡部 繁夫 副取締

監査

武智 保則 大監長・訓導

幹事

定井 暢男 元老

顧問

山本眞理子

元老・権少教正

任期

令和七年十一月一日～

令和十一年九月三十日



監査

武智 省二 副大会長

幹事

高須賀啓治

宮内 仲子

元老顧問・権少教正

顧問

西原 和男

元老大顧問 銀笏・少教正

任期

令和七年十月一日～

令和十一年九月三十日

今般、新たに就任しました宮内浩一組合長・宮内由美教会長を扇の要とし、中予崇敬組合・教会の益々のご発展を祈念致します。

記・権宮司 十亀 博行

大分県

津久見市宮山遙拝所

所長・新役員就任

遙拝所長

上杉 久尚

大監長・権少講義

令和七年八月十七日付



副所長 岩崎 賢一

元老大顧問・訓導

会計 岩崎 晃三

副大監長・訓導

標記の件につき、八月十七日付けにて上杉久尚大監長が所長に就任されました。

これからも上杉所長を扇の要とし、由緒ある遙拝所が益々隆昌でありますよう祈念し、ご報告と致します。

記・権宮司 十亀 博行

御 慶

曾我部 洋輔 権禰宜

愛媛県神道青年会

会長 就任

四月一日付



曾我部洋輔権禰宜が、愛媛県神道青年会の会長に就任した。

神道青年会は、各県内の四十才までの若手神職を会員とし、青年神職ならではの活動と共に、学びと親睦の場でもあり、各都道府県の神道青年会との協議会も結成しており、その活動による修練と結束は、将来の神社界の基盤となるものである。

曾我部洋輔会長の、県内若手神職のリーダー、全国協議会とのパイプ役としての、益々の活躍を期待するものがあります。

文責、武智。

年末年始 祭典・行事 案内

『本社』

詳しくは18ページをご覧ください。

引き続きの神事

御神像拝戴神事

石鎚神社のみで行われる全国唯一の特殊神事。

■三十一日(午後五時)

大祓式

一年間、知らない間に犯した罪穢を祓い清める祭典。清々しい気持ちで新年に臨みましょう。

年越祭

(午後十一時四十五分)

除夜は年神様を迎えるために、心身を清め、一晩中起きているのが年越しの習い。一年間の感謝と来る年の幸せを祈ります。

ご本殿にて

新春特別祈禱

境内にて

招福縁起物の頒布

石鎚神社青年部を中心にご奉仕いただく若人等がご本殿授与所にてお待ち致しております。

『中宮成就社』

正月元日(午前五時より)

元旦祭

一年の始まりを成就社にて。雪化粧をまとった霊峰石鎚山に初日の出を見て、いのちの輝きを感じましょう。

※祭儀の後

御神像拝戴神事

新春特別祈禱

新春招福縁起物頒布

※例年通り成就社初詣参拝者に石鎚神社より、先着五〇〇名の皆様に参拝記念品を贈呈します。

〔十二月〕

■一日(午前十時より)

月次祭 併せ 新穀感謝祭

師走入りの月次祭に併せ、この年の新穀をご神前にお供えし、稔りに感謝申し上げる祭典。

■十三日

正月事始め

すす払い・松迎え
正月を迎える準備を始める日。
正月縁起物の頒布を始めます。

■十五日(午前十時より)

月次祭・命日祭

本年最後の月次祭。また祖霊殿にて当月の命日祭を執り行います。

■二十二日(午後四時より)

星祭祈願始め祭

冬至であるこの日より、明年節分まで朝夕に祈願を行います。

〔正月〕

■元日(午前零時より)

元旦祭

一年の始まりです。初詣を行い、今年一年の無事と平安を神様に手を合わせましょう。

神宮大麻 石鎚神社大麻

をお祀りしましょう

神宮大麻、石鎚神社大麻を始め、神札は、新しい年を迎えるとき、また新居などへ引っ越しの際に、ご自宅や会社を御守護（おはらい）して頂く御札です。

神宮大麻

初穂料一、〇〇〇円



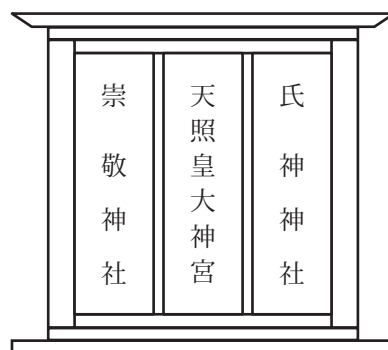
石鎚神社大麻

初穂料一、〇〇〇円



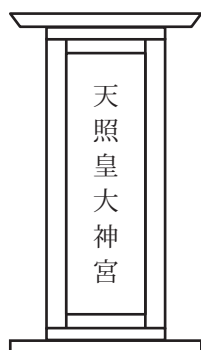
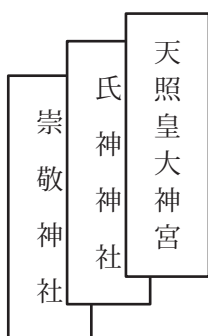
《大麻のまつり方》

横に並べてまつる場合
三社造



重ねてまつる場合

一社造・簡易神棚・御札立



神札と神棚

《神棚のまつり方》

神棚は家庭の中心ですから、いつもきれいにしておき、南か東に向くようにおまつりします。

神棚の無いご家庭でも大麻を受けていただき、目の高さくらいのタンスや本棚の上を綺麗にして、簡易神棚・御札立を置き、神棚としておまつりください。

御神前には、毎日のお米やお塩・お水等の他に季節の初物、お土産等も感謝の気持ちを含めてお供えし、お参りしましょう。

◎一年間お守りいただいた古いお札は感謝を含めて、石鎚神社、またはお近くの氏神様に納めましょう。

石 鎚 社

新春特別祈祷の御案内

正月一日～三日まで連日

申込みの方々を御祈祷！

三日間、本殿で御祈祷後、

新春特別祈祷神札を、お届けします。

石鎚神社では、新春特別祈祷を、元旦より三日間、斎行致します。

私達は日頃より、天地自然の恵みの中で生かされて戴いており、より豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しく年を迎えるに当たり災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就の御守護を願う特別祈祷を、御案内申し上げます。

尚、初穂料は下記の通りです。

左記申込用紙を御利用下さい。

新春特別祈祷用木札

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

新春特別祈祷初穂料

大木札 壹万円以上

小木札 五千円以上

舟中札 五千円以上

申込先

〒七九三ー八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 新春特別祈祷係

TEL ○八九七ー五五ー四〇四四

FAX 五五ー七二四二

石鎚神社新春祈禱申込書

令和 年 月 日

祈願内容

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ☐ 家内安全 | ☐ 厄除延命 |
| ☐ 当病平癒 | ☐ 身体健康 |
| ☐ 海上安全 | ☐ 職場安全 |
| ☐ 合格祈願 | ☐ 商業繁栄 |
| ☐ 学業成就 | ☐ 良縁成就 |
| ☐ 交通安全 | ☐ 心願成就 |

祈願一件につき右記を参照に
 祈禱木札の番号を記入下さい。
 お札の大きさは10ページを
 参照下さい。

①…舟中札 ②…小木札 ③…大木札

5,000 円以上…①、②

10,000 円以上…①、②、③

発 送 先

氏 名	
住 所	

〒 番号

No.

祈 禱 者 名 簿

初穂料合計一金

円也

(フリガナ) 氏 名		願 意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令 年 月 日	住 所	〒				
(フリガナ) 氏 名		願 意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令 年 月 日	住 所	〒				

◎送金方法

①郵便振替

②現金書留

令和8年 厄年表

(数え年)

男性 大厄 42才			女性 大厄 33才		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
	平成14年生 25才  うま			平成20年生 19才  ね	
昭和61年生 41才  とら	昭和60年生 42才  うし	昭和59年生 43才  ね	平成7年生 32才  お	平成6年生 33才  いぬ	平成5年生 34才  とり

還暦 61才

古稀 70才

喜寿 77才

傘寿 80才

米寿 88才

卒寿 90才

白寿 99才

昭和 41年

昭和 32年

昭和 25年

昭和 22年

昭和 14年

昭和 12年

昭和 3年

それぞれの年賀の年齢（数え年）を迎えた年に、神社で年賀のご祈禱を受けた後、家族の皆さんでお祝いするのが通例です。
年賀や厄年のお祓いは、古例では2月1日ですが、その前後の日でも差し支えありません。
石鎚神社では、年間を通して、年賀、厄よけのお祓いを致しております。

年賀

数え年・男女とも共通

百才以上の方は、毎年お祝い致します。 ※石鎚神社では、この厄年・年賀の年齢での御祓いをお勧めしております。

甥姪	姉妹	従兄弟	姉妹	兄弟	同母方	叔父	父方伯	嫡孫	養子	嫡子	妻	夫	同母方	父母	曾祖	同母方	祖父母	父母	種別
三日	三日	二十日	十日	二十日	十日	二十日	二十日	二十日	二十日	二十日	二十日	三十日	遠慮日	二十日	二十日	二十日	三十日	五十日	忌
七日	七日	九十日	三十日	九十日	三十日	三十日	三十日	九十日	九十日	九十日	九十日	十三月		九十日	九十日	九十日	百十五日	十三月	服
一、忌（き）は死穢に触れる事を忌み慎しむ期間のこと、この間は神祭り及び神社参拝などは遠慮しなければならぬとされている。 二、服（ぶく）は喪中別に喪服を着用し謹慎の意を表す期間の事で普通神祭りや神社の参拝など差し支えないとされている。 三、七才未満の小児には服忌なし、その父母のみ三日間遠慮のこと。 四、遠地にあるもので、父母については、聞いた日から忌五十日、服十三月をうけ、その他のものは聞いた日から忌の残数日のみを受け既に経過しているときは一日遠慮のこと。 五、したがって神事は忌明けまで遠慮のこと。但し特に必要あらば忌日数の半分以上経過すれば徐服の祓を受けると差支えない。																			
服忌表（服忌令摘記）																			
説明																			

石鎚神社教化カレンダー 謹製



上下見開き A3サイズ



表紙 A4サイズ

社務所窓口、ホームページ FAX にて受付。

お申込先：石鎚神社
担当：権禰宜 曾我部洋輔

〒793-8555 愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044
FAX 0897-55-7242

初穂料 ￥1,000 送料別途

教化カレンダーの各月の写真は、当社と深く御縁を頂いております写真愛好家の皆様よりご提供を頂き、掲載しています。日付には、旧暦と六曜を載せておりますのでご活用頂ければ幸いです。 ※教化カレンダーと一緒に振込用紙をお送り致します。

----- きりとり線 -----

教化カレンダーお申し込み用紙 金1,000円 合計 円(送料別)

氏 名			お 電 話	()
注文数	部	(郵便番号)	〒 -	
		ご 住 所		

星祭り祈願のぐい案内

令和七年十二月二十二日

(冬至)

星祭祈願始め祭

午後四時より

令和八年二月三日(火)

星祭祈願納め祭

午前十一時より

星祭りとは、年の変わり目に各人の持つ「生まれ星」を祭り、大難は小難に、小難は無難になるように、一年間の幸福と除災の祈願を石鎚大神に祈願するものであります。

祈願札に、ご氏名を記入調整し、冬至の日の夕刻より節分の日まで、神職が朝夕に清祓・ご祈願いたします。

二月三日節分の日には、本社にて古神札神納浄火祭に次いで節分祭・星祭祈願納め祭が斎行されます。

たくさんの方々のお申し込みと祭典の参列を心よりお待ちしております。

記

星祭祈願申し込み要項

・こちらよりご覧になれます。



※祈願札は節分の後にお世話人様に発送し、皆様方にはお世話人様よりお受け取りいただきます。

二月三日の祭典の後、お渡しします。

お知らせ

三千円未満の送料変更
郵送料値上げに伴い送料を二百円から三百円に値上げ致します。ご了承下さい。

その他、ご質問や不明な点、お問い合わせがありましたら、本社星祭り係までお尋ねください。

以上

祭典案内

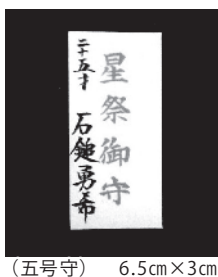
二月二日 午後五時
星祭り 祈願納め宵宮祭

二月三日 午前十時三十分
古神札神納浄火祭
午前十一時
星祭り祈願納め祭
併せ 節分祭
引き続き
御神像拝戴神事
厄祓い豆まき
神賑行事
福引き入り福豆授与
招福うどん振る舞い
(但し数に限り有り十五時終了)

令和七年の神賑行事を記載しておりますので変更がある場合がございます。

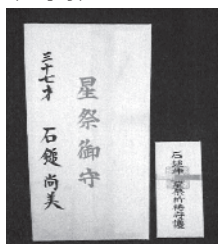
星祭り神札六種類、初穂料

星祭特別五号守 五百円以上



(五号守) 6.5cm×3cm

星祭特別二号守・六号守 二千円以上



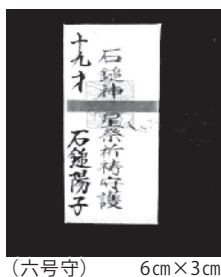
(二号守) 13.5cm×7.5cm

星祭祈願特別木札・六号守 五千円以上



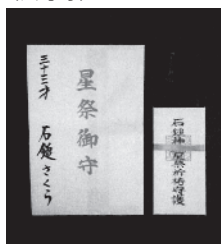
(木 札) 高さ37cm

星祭特別六号守 三百円以上



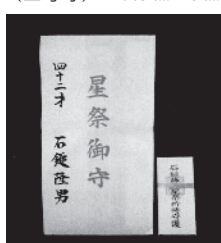
(六号守) 6cm×3cm

星祭特別二号守・六号守 千円以上



(三号守) 9.5cm×6cm

星祭特別一号守・六号守 三千円以上



(一号守) 16cm×9cm

